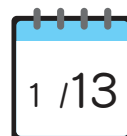


まちの話題



**私たちの未来に
関心を持ち頑張り
ます**

文化センターで成人式が行われました。この日、大人への第一歩を踏み出す節目を迎えたのは440人。小野町長からは「人と人との絆を大切にし、社会人として正しく判断し、活躍して行って欲しい」とお祝いの言葉が贈られました。中学校時代の恩師からのビデオレターが上映されると、会場の雰囲気は一転。新成人は、笑いを交えた恩師からのメッセージに、終始笑顔で当時を懐かしんでいました。



**鏡開きで新年に
願いを込めて**

町と議会主催の「新年交礼会」が開かれました。会場の総合福祉センターには、町内外の団体代表や行政区長など約200人が出席。冒頭、小野町長からは「先人の業績を評価し、町民の皆さんとアイデアを出しながらまちづくりを進めていきたい」とあいさつがありました。この後小野町長、高瀬副議長のほか、亥年生まれの出席者10人が鏡開きで新年を祝いました。



12/15

チーム一丸で優勝するぞ



ウインターカップフットサル大会がサンドームおとふけほか2会場で行われました。大会には十勝、釧路管内から小学6年生を中心に、32チーム363人が参加。町内からも5つの少年団が熱戦を繰り広げました。音更ユニオンSCキャプテンの野尻脩太君は「必ずみんなで優勝したい」と熱く語ってくれました。

12/18

スマホで撮影 背景は広く、人物は大きく



総合福祉センターで幼児家庭教育学級が行われ、講師に帯広市の写真家山下唯さんを迎えてスマホでの写真の撮り方について学習しました。講師から「渾身の1枚を撮影してください」という言葉を受け、参加者はピントや明かりの調整など、学んだことを早速実践していました。

12/16

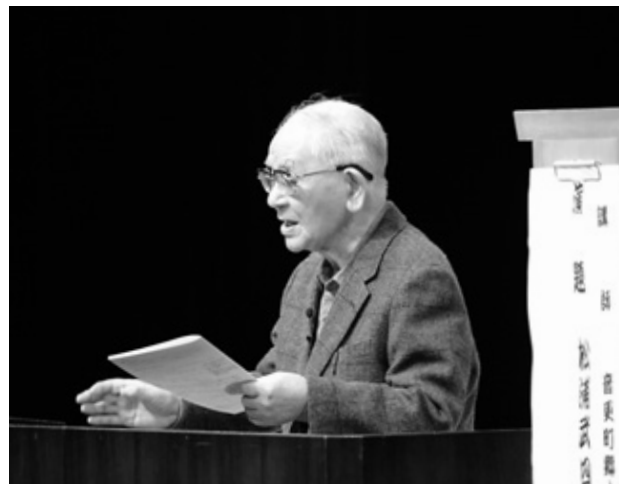
火災報知器を設置・更新 しましょう



町消防団「すずらん分団」が、ダイチオーケー店で住宅用火災警報器の設置や更新をPRするチラシを配布しました。9月に任命された帯広大谷短大の学生団員2人のほか、女性防火クラブも参加。「設備が古くなると性能が維持できません」と定期的更新を呼び掛けました。

12/23

蝦夷地における松浦武四郎 の記録を学ぶ



文化芸術祭が文化センターで開かれました。会場では歌謡発表のほか、絵画や写真などの作品が展示され、原爆の恐ろしさを伝えるパネル展も行われました。また、郷土史研究会代表の飛岡久さんから、蝦夷地を探查し、アイヌの人々と交流を深めた松浦武四郎の詳細な記録について講演がありました。